

認証取得の糸口に、競合他社との差別化に、ぜひお役立てください！

近年、自動車サイバーセキュリティに関しては、UN-R155やISO/SAE21434などの国際的な法令・規格の発効が続き、存在感が増す一方で、実務的には「車載OEMから具体的な要求が出てこない」「規格でも設計要件等は具体化されていない」など、手の付け所にお悩みの方も多いようです。

本ウェビナでは3名のエキスパートをお招きし、自動車サイバーセキュリティの概要を始め、ISO/SAE21434の要点と認証プロセス、実践的な内容としてハードウェア部品選定のポイント・生産工程における暗号鍵書込みの重要性をご説明します。

UN-R155 とISO/SAE 21434との関連

UN-R155は国連協定規則であり法規・規則。一方ISO/SAE21434は国際標準規格で、UN-R155から参照されるという関係にあり、UN-R155に適合する為の要求事項が定められています。

しかしながら詳細な内容については注意すべき点があり、お互いに必要十分の関係ではない箇所もあります。ISO/SAE21434の要件をすべて満たせばUN-R155の要件もすべて満たせるわけではありません。特にUN-R155 Annex.5については注意が必要であり、この要点について解説しました。

ISO/SAE 21434 概説、認証

規格書を読み進める上での注意点、見落としがちな点について解説しました。

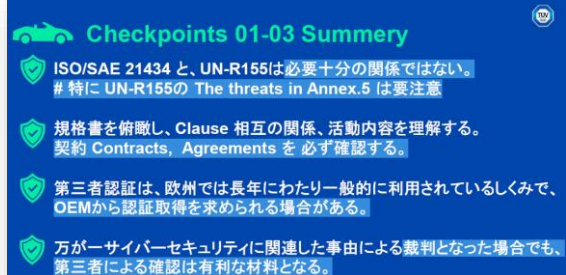
- ▶規格書全体を俯瞰して、章の相互関係を理解することが重要
- ▶製品開発フェーズの段階でOEM-サプライヤ間において「サイバーセキュリティサポートの終了」時期をあらかじめ決めておくことが重要
- ▶OEM-Tier1-Tier2-Tire.. 間でコンセプトフェイズ、設計フェイズといった早期の段階での双方の役割分担決めと合意（CIA締結）が重要
- ▶ISO/SAE21434は必ず第三者による審査が必要なわけではない(自己宣言での準拠も可)。しかしながら、OEMから認証取得を求められるケースもあります。また、認証取得することで対外的なアピール、信頼度の向上にも繋がる為、第三者認証機関による認証取得の有意性についても解説しました。

■ 本日の登壇者 ■



テフズードジャパン株式会社
西田 俊子 氏

MO&RI 事業本部 エンジニアリング部
自動車サイバーセキュリティエキスパート



チェックポイント まとめ

出所：投影資料より一部抜粋

他のウェビナはこちらから

リョーサンウェブサイト

